



# 新日鐵住金

株 主 の 皆 様 へ

## 2015



拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社はこのたび、2015年度～2017年度を実行期間とする「2017年中期経営計画」を策定し、2015年3月3日に公表いたしました。その概要をお伝えいたしたく、本冊子をお届けいたしますので、ご高覧賜りたく存じます。

株主の皆様には、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2015年3月

新日鐵住金株式会社

代表取締役社長 進藤 孝生

### 2013年に公表した「中期経営計画」を推進し、着実に成果を上げてまいりました

当社グループは、2013年3月に公表した現中期経営計画において、統合シナジーの早期・最大発揮による持続的な利益成長を目指すこととしました。過去2年間、旧両社の技術融合や効率化によるコストダウン、設備集約、海外下工程の投資、グループ会社統合再編成等を推進することにより、着実に成果を上げてまいりました。

＜現中期計画の達成状況＞ (2014年度見込)		(現中期計画)
売上高利益率	7.3%	最低5%、さらに10%目標
統合効果	年率1,400億円 (2015年度2,000億円実現目処)	年率2,000億円
D/Eレシオ	0.7倍程度	早期に1.0倍、さらに0.8倍目標

### 環境変化への的確な対応が求められます

製鉄事業を取り巻く環境は、中国における大幅な需給ギャップは相当期間継続すると想定されるものの、世界の鉄鋼需要は緩やかに増加することが見込まれ、特に新興国では、社会の成熟化や省エネルギー・環境対応ニーズの高まり等を背景とした高級鋼需要の着実な拡大が期待されます。また国内では、防災対応の国土強靱化や都市インフラの更新需要、製造業の国内生産増の動きなど、底堅い需要が期待されます。

一方、原油・原料価格、為替等の市況変動や世界各地で高まる地政学リスクなど、様々な環境変化が予想されますが、これらへの的確に対応することが求められております。

### 「2017年中期経営計画」を策定しました

当社グループは、現中期経営計画において着実に成果を上げている状況を踏まえ、こうした事業環境の変化や課題に着実に対応し、揺るぎない『総合力世界 No.1 の鉄鋼メーカー』を実現するため、今般、2015年度～2017年度を実行期間とする「2017年中期経営計画」を策定いたしました。

# 2017年中期経営計画の概要 (2015年3月3日公表内容の概要)

## 製鉄事業の主要施策

### ●国内マザーミル競争力の強化——「設備」と「人」の両面で製造実力の強化策を推進します

主力製鉄所が設立後40年以上を経過している現状を踏まえ、製鉄所等の「強化・再建」を推進します。

- 国内設備投資 約13,500億円/3ヵ年 (2013-2014年度見込 約7,000億円/2ヵ年)
- 採用(単独) 約1,300人/年 (2013-2014年度見込 約700人/年)



国内製造基盤の徹底強化を図ります



採用を拡大し、人的戦力を強化・拡充します

### ●鉄源工程の最適体制構築——より小さい固定費で高い生産性を実現します

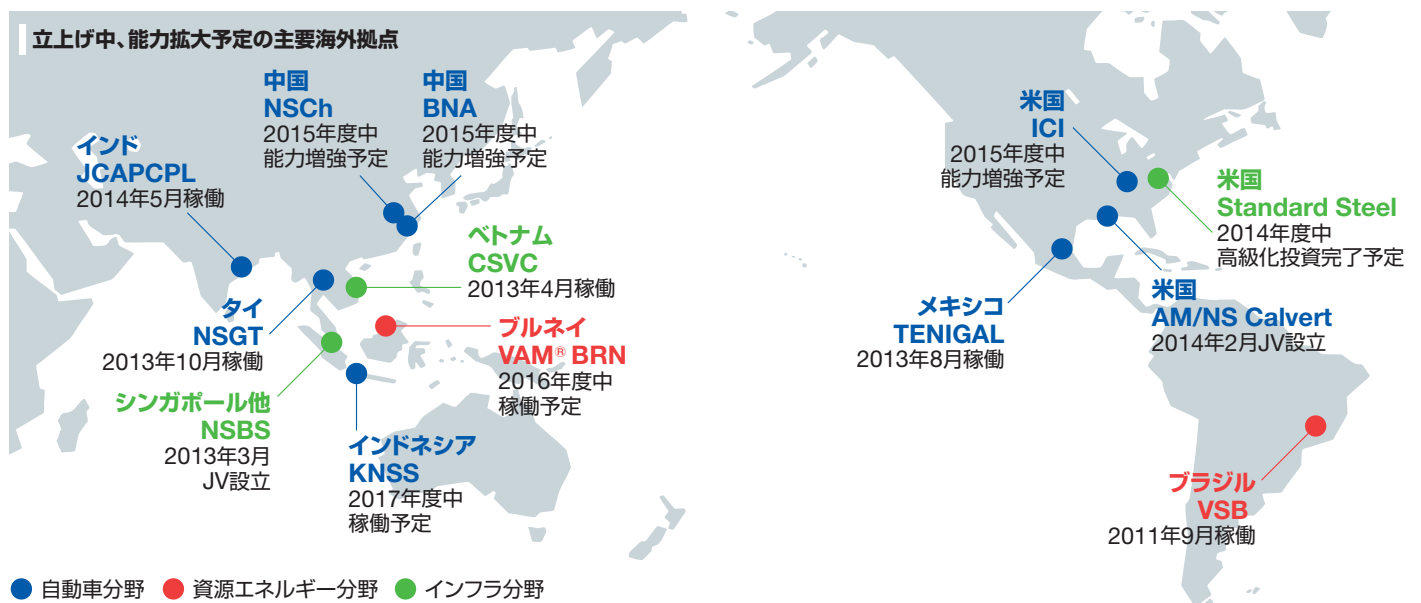
全社での高出鉄操業の追求等による鉄源設備稼働率の向上を図り、より小さい固定費で高い生産性を実現します。

- 君津 高炉2基体制への移行(第3高炉休止)(既公表 2015年度末)
- 八幡 戸畑第4高炉の増出鉄と溶鉄輸送線の設置等による小倉第2高炉休止等(2018年度末)
- 和歌山 第5高炉から新第2高炉への切替え事前準備を開始

### ●グローバル戦略の推進——高級鋼を軸にグローバルで当社ポジションを維持拡大します

当社が有する商品技術力・コスト競争力・供給ネットワークを活かし、高級鋼を軸にグローバルマーケットで当社ポジションの維持拡大を追求していきます。

- 将来の成長に向けた事業投資 約3,000億円/3ヵ年
- 立上げ、能力増強中の海外拠点の早期戦力化



## ● **技術先進性の発揮**——高機能商品開発、総合ソリューション提案、プロセス革新で世界をリードします

高機能商品開発、お客様への総合ソリューション提案、プロセス革新による生産性の向上等で世界をリードするために、開発スピードを加速し、次世代鋼材研究や、要素・基盤技術研究にも積極的に取り組みます。

- 研究開発費 約2,100億円/3ヵ年(2013-2014年度見込 約1,300億円/2ヵ年)

## ● **世界最高水準のコスト競争力の実現**——統合効果と体質強化投資の成果を発揮します

3年間を目途に年率1,500億円以上(単独)のコスト改善の実現を目指します。

## ● **製鉄事業グループ会社の体質強化**——シナジー効果をさらに追求します

現中期期間中に統合再編したグループ会社については、シナジー効果のさらなる追求を図るとともに、当社とグループ会社、グループ会社間といったグループ一貫シナジー追求も拡大します。

## **製鉄以外の事業セグメント**

各事業は競争力基盤を強化し、中核事業である製鉄事業へのシナジー追求と各業界でのトップクラスの収益体質の確保を目指します。

## **財務戦略と株主の皆様への還元方針**

中長期的な利益成長とキャッシュフロー拡大を図るとともに、盤石な財務体質を実現します。

- 収益性ターゲット **ROS(売上高利益率) 10%以上, ROE(株主資本利益率) 10%以上**
- 資産圧縮 **約2,000億円/3ヵ年**
- D/Eレシオ(有利子負債株主資本比率) **0.5倍程度**

株主の皆様への配当還元につきましては、連結配当性向の方針を

現行の「20%程度を基準」から「20~30%を目安」へと引き上げます。(2015年度より適用)

## **信頼される企業に向けた取り組み**

- 当社の基本理念を実践し、社会への一層の貢献に努めてまいります。
- 各種法令・ルールを遵守するとともに、安全・環境・防災等のリスク管理を適切に行ってまいります。特に、名古屋製鐵所の事故を教訓に、全社を挙げて未然防止対策に取り組んでまいります。

### **新日鐵住金グループ企業理念**

#### **基本理念**

新日鐵住金グループは、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献します。

#### **経営理念**

1. 信用・信頼を大切に作るグループであり続けます。
2. 社会に役立つ製品・サービスを提供し、お客様とともに発展します。
3. 常に世界最高の技術とものづくりの力を追求します。
4. 変化を先取りし、自らの変革に努め、さらなる進歩を目指して挑戦します。
5. 人を育て活かし、活力溢れるグループを築きます。

以上の取り組みを通じ、『総合力世界 No.1 の鉄鋼メーカー』の実現に向けて邁進します。

## 株主優待の見直しについて

当社は、株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社グループの活動に関するご理解をより深めていただくことを目的として株主優待制度を導入いたしております。

このたび、連結配当性向方針の見直しとあわせて、株主優待制度についても検討を行ってまいりました。その結果、一部の優待において、高い抽選倍率でのご案内となっている現状等を踏まえ、**2015年9月末基準より、下記のとおり株主優待制度を一部変更させていただくことといたしました。**

なお、申込要領等の詳細につきましては、対象の株主様に別途ご案内申し上げます。

### ●見学会・説明会（変更なし）

項目	内容	ご案内回数(実施時期)	ご案内対象
工場見学会への招待(抽選)	製鉄所・製造所の見学に招待いたします。	年2回ご案内 (3～4月頃、10～11月頃)	9月末・3月末における 10,000株以上 保有の株主様
経営概況説明会への招待(抽選)	東京・大阪をはじめ、各地で開催いたします。	年2回ご案内 (7～9月頃、2～3月頃)	

### ●各種優待（下線部が変更部分）

項目	内容	ご案内回数 (実施時期)	ご案内対象	
			変更後	変更前
当社カレンダーの送付	当社カレンダーを送付いたします。	年1回ご送付 (11月下旬～ 12月上旬)	9月末における <u>5,000株</u> 以上 保有の株主様	9月末における <u>7,000株</u> 以上 保有の株主様
鹿島アントラーズ観戦招待(抽選)	J1リーグ戦(ホームゲームまたはアウェイゲーム)に招待いたします。	年2回ご案内 (4～8月頃、 8～12月頃)	9月末・3月末における <u>50,000株</u> 以上 保有の株主様	9月末・3月末における <u>5,000株</u> 以上 保有の株主様
紀尾井ホール演奏会への招待(抽選)	紀尾井シンフォニエッタ東京の定期演奏会をはじめとした各種演奏会に招待いたします。	年2回ご案内 (3～7月頃、 9～2月頃)	9月末・3月末における 50,000株以上 保有の株主様 <u>(ご招待席数増)</u>	9月末・3月末における 50,000株以上 保有の株主様

## 株式に関する手続き

項目	内容
株主名簿管理人事務取扱所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (電話照会先) 当社株主様専用ダイヤル 0120-785-401(フリーダイヤル) 株主名簿管理人代表電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
住所変更、単元未満株式の買取り・買増しのお申出先	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 (証券会社の口座で株式を管理していらっしゃらない場合は、三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。)
未払配当金の支払いのお申出先	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。